

(2) 交流促進に向けた本協議会の 取組状況について

① 平成 27 年度の協議会の取組状況について

② 平成 28 年度以降の協議会の取組について

- | | |
|---------------------|------|
| ・サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪 | P 2～ |
| ・サッカー公式試合での交流促進 | P13～ |
| ・歴史的遺産のネットワーク構築と PR | P16～ |
| ・あつまれ「四国のへそ」とくたくフェア | P21～ |
| ・文化芸術ネットワークの推進 | P29～ |
| ・協議会で実施する情報発信について | P32 |
| ・瀬戸内海国立公園ウォーク | P33～ |
| ・インフラツーリズム(案) | P36～ |

環瀬戸内海地域交流促進協議会 取組の進捗状況(平成28年3月末時点)

取組名称	取組内容(概要)	取組の進捗状況 (平成26年度)	取組の進捗状況 (平成28年3月末時点)	当面の取組 (平成27年度内)	当面の取組(案) (平成28年度)	当面の取組(案) (平成29年度以降)
【環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興】						
サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪 【愛媛県・広島県】	◇自転車道の整備 (統一された規格による整備)	◇各サイクリングコースにブルーライン等を整備 ・メロディライン・タやけこやけラインコース【愛媛県】 ・遊子段畑・四万十源流コース【愛媛県・高知県】 ・四万十・足摺無限大チャレンジライドコース【高知県】 ・瀬戸内サイクリングロードネットワークの完成【広島県】 (しまなみ海道、とびしま海道、さざなみ海道、かきしま海道)	◇統一されたサイクリングコース規格等の整備に関する手引き(案)について検討・調整 ◇県内の優れた景観地や観光施設をサイクリングで結ぶ8つの推奨ルートを選定【岡山県】 ◇県内のサイクリングコースを設定するための協議会組織を立上げ【高知県】 ◇SOS表示の整備【尾道市】	◇統一されたサイクリングコース規格(ルール)の策定 ◇SOS表示の整備【尾道市】 ◇推奨ルートを選定し、ルートを示すラインや案内看板等を整備予定【岡山県】 ◇サイクリングコース選定のための協議会組織を設立し、設定を行う【高知県】	◇協議会が推奨するサイクリングコースについて、モデルコースとして優先的に整備する区間を検討・選定(推奨コースの選定基準等を決定し、モデルコースを選定) ◇関係機関との協議	◇協議会が推奨するサイクリングコースの検討・選定 ◇関係機関との協議 ◇協議会推奨サイクリングコースについて、関係機関との協議が整った所から決定 ◇決定したサイクリングコースについて、整備に向けて取組む
	◇利便性向上に向けた取組 (しまなみ海道自転車道無料化の継続) (サイクルスタンド・ベンチ等の設置)	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化(H26.7～) 【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速株】 ◇橋梁アプローチ道路にセーフティマットを設置 (しまなみ海道自転車道利用促進協議会【広島県】) ◇サイクルスタンドの設置 (しまなみ海道自転車道利用促進協議会【愛媛県側】) ◇イベント時にルール・マナーの啓発 【瀬戸内しまなみ海道振興協議会】	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化の継続(～H30.3) 【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速株】 ◇サイクルトレインの運行 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【愛媛県側】】 ◇サイクルスタンドの設置【尾道市】 ◇おもてなし事業の実施【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【広島県】】 ◇マナーアップ講習会の実施【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【広島県・愛媛県側】】 ◇イベント時の配布物でのルール・マナーの啓発(しまなみ縦走) 【本四高速株、瀬戸内しまなみ海道振興協議会】	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化を継続 【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速株】 ◇サイクルスタンドの設置、おもてなし事業の実施 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【広島県】】 ◇サイクルトレインの運行 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【愛媛県側】】 ◇マナーアップ講習会の実施 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【広島県・愛媛県側】】 ◇「道の駅」にラック型駐輪場の整備予定【岡山県】	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化を継続【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速株】 ◇サイクルスタンドの設置【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【広島県】】 ◇おもてなし事業の実施【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【広島県・愛媛県側】】 ◇マナーアップ講習会の実施【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【広島県】】	◇しまなみ海道自転車道の通行料金無料化を継続【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速株】 ◇引き続き利便性向上事業を実施
	◇サイクリングに関する広報連携	◇各県のサイクリング大会の情報発信等の検討	◇HPの作成、情報発信 ◇サイクリングに関するフェスでしまなみ海道自転車道に関する魅力発信【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会】	◇協議会サイトの情報発信内容について検討 ◇サイクリングに関するフェスで、しまなみ海道自転車道に関する魅力発信 【しまなみ海道自転車道利用促進協議会】	◇HPにおいて情報発信 ◇サイクリングフェス等へしまなみ海道自転車道に関する魅力発信【しまなみ海道自転車道利用促進協議会】 ◇サイクリング体験ツアーの実施【しまなみ海道自転車道利用促進協議会【愛媛県側】】	◇協議会サイトにて、サイクリングに関する情報発信
サッカー公式試合での交流促進 【愛媛県・広島県】	◇本四連絡道路の利用促進のためのPR	◇「PRIDE OF 中四国」のイベントに対し、協議会としての連携企画を打診中	◇PRIDE OF 中四国のイベントに対し、協議会としての連携する取組内容(協議会のパンフレット配布等)を打診。 (PRIDE OF 中四国において、連携する取組内容について協議中) ◇Jリーグと本四連絡道路の利用促進につながる取組に関する協議を実施。	◇「PRIDE OF 中四国」及び関係自治体等と連携企画を協議、目標を決定	◇PRIDE OF 中四国と連携する取組内容について協議、決定	◇PRIDE OF 中四国と連携する取組内容について協議、決定 ◇決定した取組内容を実施
【瀬戸内海の「海」の魅力発信】						
瀬戸内海国立公園ウォーク 【香川県・岡山県】	◇瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施 (香川県・岡山県を中心とした取組)	◇「2014春スカイツアー」の開催 ◇「2014秋スカイツアー」の開催 ◇「春の備讃瀬戸ウォーク」の開催 ◇「屋島ウォーク」の開催 ※瀬戸内海国立公園ガイドマップ「屋島の自然」を発行し、ウォーク参加者へ配布) ◇「瀬戸内倉敷ソーデーマーチ」の開催	◇「2015春スカイツアー」の開催 ◇「2015秋スカイツアー」の開催 ◇明石海峡大橋海上ウォークの開催 ◇2橋まるごとウォークツアーの開催 ◇「国立公園ウォーク」の開催 ◇「屋島ウォーク」の開催 ◇「第29回瀬戸内倉敷ソーデーマーチ」の開催	◇参加者数の増加、交流人口の拡大	◇「2016春スカイツアー」の開催 ◇「2016秋スカイツアー」の開催 ◇明石海峡大橋海上ウォークの開催 ◇2橋まるごとウォークツアーの開催 ◇「国立公園ウォーク」の開催 ◇「屋島ウォーク」の開催 ◇「第30回瀬戸内倉敷ソーデーマーチ」の開催 ◇その他各県で、広報連携したウォーキングイベントを実施	◇「2017春スカイツアー」の開催 ◇「2017秋スカイツアー」の開催 ◇明石海峡大橋海上ウォークの開催 ◇2橋まるごとウォークツアーの開催 ◇「国立公園ウォーク」の開催 ◇「屋島ウォーク」の開催 ◇「第31回瀬戸内倉敷ソーデーマーチ」の開催 ◇その他各県で、広報連携したウォーキングイベントを実施
	◇各県で開催するウォーキングイベントの広報連携 (協議会HPで周辺の観光情報を発信)	◇ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報の収集	◇協議会HPにおける各県ウォーキングイベントの掲載 ◇ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報を収集	◇協議会HPの掲載情報、掲載基準及び範囲等の調整 ◇掲載情報の収集、更新、多言語化への対応	◇協議会HPにおける各県ウォーキングイベントの掲載	◇協議会HPにおける各県ウォーキングイベントの掲載
インフラツーリズム(案)	◇暮らし・安全を支えるインフラ、土木・近代遺産、道の駅、日本風景海道、四国八十八箇所霊場、観光施設等を巡る、モデルコースの設定・PR	—	—	—	◇香川県において試行 ・周遊する観光施設検討 ・現地確認、関係機関協議を踏まえたモデルコースの設定 ・現地マップ作成 ・協議会HPや関係機関と連携した情報発信	◇各県連携による環瀬戸内海地域への展開 ◇協議会HPや関係機関と連携した情報発信
【環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化】						
歴史的遺産のネットワーク構築とPR 【高知県】	◇現存木造天守閣等の史跡の償還、モデルルートの設定・PR	◇現存木造天守等の情報収集及びモデルルートやPR方法の検討	◇現存木造天守等の情報収集及びモデルルートの設定(11/27に決定) ◇モデルルートについてPR方法の検討 ◇PRのための広報資料を作成・各施設や各県において配布・四国ツーリズム創造機構などと連携し、旅行会社等に向けたPR	◇モデルルートの設定及び協議会HP等でのPR ◇次年度以降の実施に向け、利用者への特典等の検討 ◇四国ツーリズム創造機構などと連携し、ツアーの売り込みを開始	◇モデルルートの協議会HP等を活用した情報発信 ◇PRのための広報資料を作成・各施設や各県において配布 ◇四国ツーリズム創造機構などと連携し、広報資料等を用いたPR ◇道の駅やSA・PAと連携した情報発信(チラシ等)について協議・検討	◇協議会HPを活用した情報発信 (各施設でのイベント情報など情報を充実) ◇四国ツーリズム創造機構などと連携し、旅行会社等に向けたPR ◇道の駅やSA・PAと連携した情報発信(チラシ等)を実施
文化芸術ネットワークの推進 【高知県・本四高速】	◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの設定	◇モデルルート「文化芸術めぐり(仮称)」の対象施設を検討中 ※「モネの庭」マルモッタンについては、H27.4より「せとうち美術館ネットワーク」に新たに参画	◇モデルルートについては検討中 ◇シルバー世代を対象とした美術館ツアーや、「瀬戸大橋と芸術の秋」ツアーなどを実施	◇具体の施設紹介、モデルルートの提案等	◇「せとうち美術館ネットワーク」参加施設を巡るモデルルートの設定や展覧会情報の紹介などを検討	◇「せとうち美術館ネットワーク」参加施設を活用したモデルルートの設定や展覧会情報の紹介などを実施
	◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実	◇利用金額に応じて図書カードをプレゼントする「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」を継続実施	◇H27.10から新たに1施設が参画し、全59施設で実施 ◇「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」を継続実施	◇現状の取組の延長線上での充実を図る ◇「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」の継続	◇現状の取組の延長線上での充実を図る ◇「せとうち美術館ラリー」を実施中	◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実や積極的な情報発信
【環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承】						
あつまれ「四国のへそ」とくどくフェア 【徳島県・兵庫県】	◇あつまれ「四国のへそ」とくどくフェアの開催	◇3月15日にフェアを開催 (愛媛県と香川県からB級グルメ出店) ◇フェアの継続的に開催が出来るよう検討	◇各県の伝統ある食材、トレンド食材のパネル展を開催 ◇地域イベントと連携したグルメフェアの秋頃開催に向けて調整中 ◇H28秋頃のフェア開催に向け検討・調整	◇食文化の発信・伝承に向けて、各県の伝統ある食材、トレンド食材を調査・発信(パネル展の開催) ◇平成28年春頃のパネル展開催を目指す ◇フェアを継続的に開催出来るよう検討	◇引き続き、食文化の発信・伝承に向けて、各県の伝統ある食材、トレンド食材を調査・発信(各種イベントに合わせてパネル展等の開催) ◇フェアを継続的に開催出来るよう調整 (平成28年度の開催を予定)	◇引き続き、食文化の発信・伝承に向けて、グルメフェアやパネル展の開催による情報発信 ◇フェアを継続的に開催出来るよう調整
	◇神戸淡路鳴門自動車道に連携強化事業の実施	◇おどる宝島パスポートの兵庫県・徳島県の連携 ◇花みどりフェア淡路花博2015を開催	◇花みどりフェア淡路花博2015を開催 ◇大鳴門橋開通30周年記念事業の実施 ・徳島・淡路周遊キャンペーン等の実施 ・食のブランド海峡ダービー、2橋まるごとウォークツアーを開催し、徳島・兵庫両県の食をPR	◇花みどりフェア淡路花博2015、大鳴門橋開通30周年記念事業の実施	◇おどる宝島パスポートの兵庫県・徳島県の連携を継続 ◇2橋まるごとウォークツアー、淡路島&徳島とくどく周遊ガイドによる徳島・兵庫両県の食をPR	◇おどる宝島パスポートの兵庫県・徳島県の連携を継続(対象施設の見直し、拡充を図る) ◇2橋まるごとウォークツアー等で徳島・兵庫県の食等の魅力発信
【協議会で実施する情報発信について】						
協議会サイトの開設・運営	◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報の積極的な発信	◇協議会ポータルサイトの原案作成	◇協議会ポータルサイトの原案作成済み	◇協議会ポータルサイトのアップに合わせ、情報を発信	◇協議会ポータルサイトにて、各種取組について情報発信 ◇多言語化への対応	◇協議会ポータルサイトにて、各種取組について情報発信 ◇多言語化への対応

取組の概要

- ①協議会が推奨するサイクリングコースにおいて、統一された規格による安全で快適なサイクリング環境の整備を推進
- ②快適なサイクリングのため、利便性向上に向けた取組を実施（サイクルスタンドの設置 等）
- ③サイクリングに親しみ、地域間交流を促進させるため、サイクリングに関する広報連携を実施

①統一された規格等によるサイクリングコースの整備

効果：国内外のサイクリストが、安全・安全にサイクリングを

楽しみながら周遊できる。

整備のイメージ

コース案内板



注意喚起看板等



観光地 交通拠点

フットサイン



ブルーライン

観光地 交通拠点

注意喚起看板等



移動式サイクルスタンドの設置



固定式サイクルスタンドの設置

③サイクリングに関する広報連携

効果：サイクリングを中心とした地域間交流が図れる。



協議会HP

日本最大級の自転車フェスで広報活動を実施

【連携取組】サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪

取組の概要	【取組の概要】 ○安全で快適なサイクリング環境整備のため、ブルーライン、コース案内板、注意喚起看板など協議会の統一規格等による整備。 ○快適なサイクリングのため、サイクルスタンド、ベンチ等の設置など利便性向上に向けた取組を実施。 ○サイクリングに親しみ、地域間交流を促進させるため、サイクリングに関する情報発信を実施。 【以下は、（一社）せとうち観光推進機構の取組】 ○各県が、地元市町村と連携するなど、風光明媚な箇所等を周遊できるサイクリングコースを設定。 ○サイクリストを広く国内外から呼び込むため、圏域全体のサイクリングマップやイベント情報を掲載したパンフレット等の作成、サービスサイトを開設し情報発信 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○各主体の既存の取組 ・愛媛マルゴト自転車道の展開【愛媛県・全20市町】 ・瀬戸内しまなみ海道自転車道の利用促進・利便性向上（自転車通行料金無料化等）【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速㈱】 ・海外との姉妹自転車道協定の締結（サイクリストの聖地化）【瀬戸内しまなみ海道振興協議会・台湾サイクリスト協会】 ・瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会の実施【瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会】 ・サイクリングの聖地「瀬戸内」の実現のため、コースを選定、マップの作成瀬戸内ポタリップ（サイクリングガイドブック）の発刊【（一社）せとうち観光推進機構】 ・自転車道サービスサイト開設【（一社）せとうち観光推進機構、各県】
取組の内容	◇サイクリングコースの整備 ・環瀬戸内海地域における自転車道について、統一された規格等（ブルーライン、フットサイン、コース案内板、注意喚起看板）によるサイクリングコースの整備を推進。 ◇利便性向上に向けた取組 ・サイクルスタンド、ベンチ等の設置。 ・しまなみ海道自転車道の自転車通行料金無料化の継続。【広島県・愛媛県・しまなみ海道自転車道利用促進協議会・本四高速㈱】 ◇サイクリングに関する広報連携 ・環瀬戸内海地域におけるサイクリングコースやサイクリング大会等について、HP等で情報発信
取組の進捗状況	○平成27年度内の目標 ◇サイクリングコースの整備 ・統一された規格（ルール）の検討、調整・決定、関係機関との協議 ・SOS表示の整備（尾道市） ・県内の優れた景観地や観光施設をサイクリングで結ぶ推奨ルートを選定し、ルートを示すラインや案内看板等を整備する予定（岡山県） ・県内のサイクリングコースを設定するための協議会組織を立ち上げ、サイクリングコースの設定を行う。（高知県） ◇利便性向上に向けた取組 ・しまなみ海道自転車道の自転車通行料金の無料化の継続（広島県、愛媛県、しまなみ海道自転車道利用促進協議会、本四高速㈱） ・サイクルスタンドの設置（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（広島県）） ・おもてなし事業の実施（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（広島県）） ・サイクルトレインの運行（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（愛媛県側）） ・マナーアップ講習会の実施（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（広島県・愛媛県側））

- ・県内の道の駅にラック型駐輪場を整備するなど取組を進める予定（岡山県）

◇サイクリングに関する広報連携

- ・HPの情報発信内容について検討
- ・サイクリングに関するフェスでしまなみ海道自転車道に関する魅力発信（しまなみ海道自転車道利用促進協議会）

○進捗状況（H28.3末時点）

◇サイクリングコースの整備

- ・「（仮）サイクリングコース整備に関する手引き」（①ブルーライン②フットサイン③コース案内板④注意喚起看板等）について検討、調整
- ・SOS表示の整備（尾道市）
- ・県内の優れた景観地や観光施設をサイクリングで結ぶ8つの推奨ルートを選定（岡山県）
- ・県内のサイクリングコースを設定するために県内市町村と調整（高知県）

◇利便性向上に向けた取組

- ・しまなみ海道自転車道の自転車通行料金の無料化の継続（H30.3まで）（広島県、愛媛県、しまなみ海道自転車道利用促進協議会、本四高速㈱）
- ・サイクルスタンドの設置（尾道市）
- ・おもてなし事業の実施（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（広島県））
- ・サイクルトレインの運行（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（愛媛県側））
- ・マナーアップ講習会の実施（しまなみ海道自転車道利用促進協議会（広島県・愛媛県側））
- ・イベント時の配布物でのルール・マナーの啓発（しまなみ縦走）（本四高速㈱、瀬戸内しまなみ海道振興協議会）

◇サイクリングに関する広報連携

- ・HPの作成、情報発信
- ・サイクリングに関するフェスでしまなみ海道自転車道に関する魅力発信（しまなみ海道自転車道利用促進協議会）

取組内容及び取組主体	H27年度	H28年度	H29年度～	目 標
	（ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる機関との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります）			
◇統一された規格によるサイクリングコースの整備	各県の既存取組を継続			○H28～協議会が推奨するサイクリングコースについて、モデルコースとして優先的に整備する区間を検討・選定（推奨コースの選定基準等を決定し、モデルコースを選定） ○H29～関係機関との協議が整った所からコースを決定し、整備に向けて取組む。
	統一された規格等（サイクリングコース整備に関する手引き（案））について検討、調整	・協議会が推奨するサイクリングコースの検討 ・関係機関との協議	・協議会が推奨するサイクリングコースの検討 ・関係機関との協議 ・協議が整った所からコース決定 ・コースの整備促進	
◇利便性向上に向けた取組	各県の既存取組を継続			○各県で工夫をこらした利便性向上に向けた取組を実施。
◇広報連携	HP構成等の検討	HPによる情報発信		○サイクリングに関する情報発信。

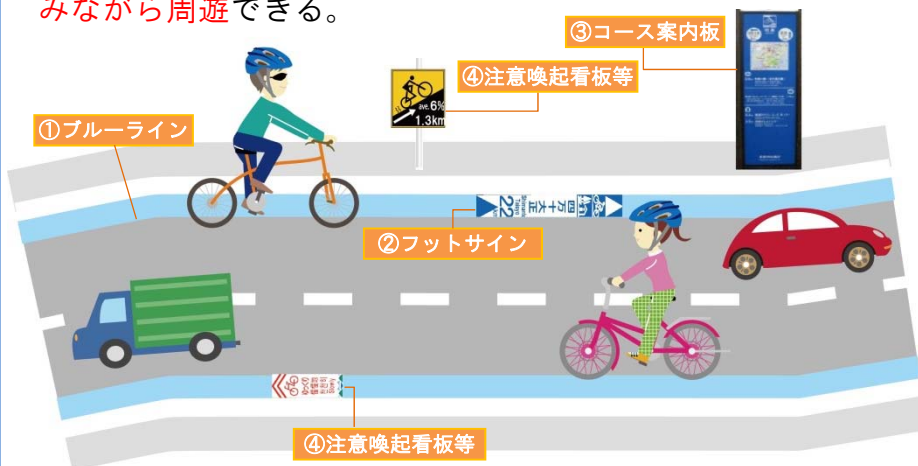
取組に関する 当面の目標	
○平成28年度内の目標 ◇サイクリングコースの整備 ・協議会が推奨するサイクリングコースについて、モデルコースとして優先的に整備する区間を検討・選定 (推奨コースの選定基準等を決定し、モデルコースを選定) ・関係機関との協議 ◇利便性向上に向けた取組 ・しまなみ海道自転車道の自転車通行料金の無料化の継続 (広島県、愛媛県、しまなみ海道自転車道利用促進協議会、本四高速㈱) ・サイクルスタンドの設置(しまなみ海道自転車道利用促進協議会(広島県)) ・おもてなし事業の実施(しまなみ海道自転車道利用促進協議会(広島県・愛媛県側)) ・マナーアップ講習会の実施(しまなみ海道自転車道利用促進協議会(広島県)) ◇サイクリングに関する広報連携 ・HPにおいて情報発信 ・サイクリングフェス等でしまなみ海道自転車道に関する魅力発信 (しまなみ海道自転車道利用促進協議会) ・サイクリング体験ツアーの実施(しまなみ海道自転車道利用促進協議会(愛媛県側)) ○平成29年度以降の目標 ◇サイクリングコースの整備 ・協議会が推奨するサイクリングコースの検討・選定 ・関係機関との協議 ・協議会推奨サイクリングコースについて、関係機関との協議が整った所から決定 ・決定したサイクリングコースについて、整備に向けて取組む ◇利便性向上に向けた取組 ・しまなみ海道自転車道の自転車通行料金の無料化の継続 (広島県、愛媛県、しまなみ海道自転車道利用促進協議会、本四高速㈱) ・引き続き利便性向上事業を実施 ◇サイクリングに関する広報連携 ・協議会サイトにて、サイクリングに関する各種情報発信	
主担当 副担当	愛媛県 広島県

サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪



統一された規格等によるサイクリングコースの整備

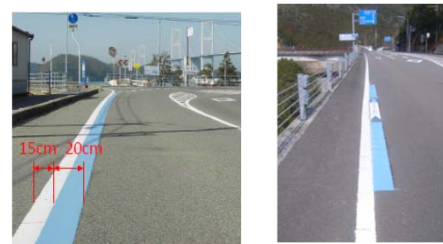
- ・国内外のサイクリストが、**安全・安心にサイクリングを楽しみながら周遊**できる。



①ブルーラインの規格を統一

- ・フットサインとの相乗効果により**迷うことなく安全・安心にサイクリングが楽しめる**。

＜整備のイメージ＞



- ・幅20cmを基本として外側線の横に設置
- ・沿線の状況等により連続又は部分的に設置

②フットサインの規格を統一

- ・コース図がなくても**安心してサイクリングが楽しめる**。

＜整備のイメージ＞



- ・必要に応じて、交差点など多方面の流入・流出がある箇所等で設置
- ・行先、方向を表示
- ・利用状況等により、距離、ピクトグラム、外国語を表示

③コース案内板の設置を推奨

- ・コース案内を行うことで、**快適にサイクリングや観光を楽しめる**。

＜整備のイメージ＞



- ・必要に応じて、休憩施設や交差点など多方面の流入・流出がある箇所等で設置
- ・サイクリングコース、主要観光地、休憩施設、トイレ等を記載
- ・利用状況等により、外国語を併記

④注意喚起看板等の設置を推奨

- ・コース上の危険箇所等を注意喚起することで、**安全なサイクリングが楽しめる**。

＜整備のイメージ＞



- ・沿線状況により、注意喚起が必要な箇所に設置
- ・利用状況により、ピクトグラムや外国語を表示

環瀬戸内海地域交流促進協議会

「サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪」
サイクリングコース整備に関する手引き(案)

平成 28 年 5 月

環瀬戸内海地域交流促進協議会

「サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪」サイクリングコース

整備に関する手引き(案)

1. 目的

環瀬戸内海地域交流促進協議会(以下「協議会」という。)が推奨するサイクリングコースにおいて、国内外のサイクリストが、安全・安心にサイクリングを楽しみながら周遊できることを目的に、整備に関する手引きを示したものである。

2. 整備の進め方

- ・ 本手引きで示すブルーラインとフットサインについては、統一規格として設置するものとし、コース案内板と注意喚起看板等については、沿線状況等を考慮し、設置を推奨するものとする。
- ・ 整備については、関係機関との協議が整ったところから進めるものとする。
- ・ 関係機関との協議やサイクリストの安全面などから、本手引きの内容に工夫を加えることで、より一層の効果が期待できる場合は、地域の実情に応じた整備を進めることができるものとする。
- ・ 全国的な規格が策定された場合は、その対応方法を改めて協議会で協議するものとする。

1. ブルーライン

(1)方針

- ・国内外のサイクリストが、フットサインとの相乗効果により、迷うことなく安全・安心にサイクリングを楽しめるように、ブルーラインを路面に表示する。

(2)整備内容

- ・幅 20cm を基本として外側線の横に設置
- ・沿線の状況等により連続又は部分的に設置

(3)期待される効果

- ・フットサインとの相乗効果により、地図を持たなくても迷うことなく目的地まで行くことが可能。
- ・自転車の左側通行を意識づけるとともに、自動車に自転車が走行することを注意喚起することが可能。

(4)位置付け(法令等根拠)

- ・法定外表示

<整備イメージ>



2. フットサイン

(1)方針

- ・ 国内外のサイクリストが、コース図がなくても安心してサイクリングを楽しめるように、フットサインを路面に表示する。

(2)整備内容

- ・ 必要に応じて、交差点など多方面の流入・流出がある箇所等で設置
- ・ 行先、方向を表示
- ・ 利用状況等により、距離、ピクトグラム、外国語を表示

(3)期待される効果

- ・ 主要地点までの方向、距離等を明示することで、安心してサイクリングすることが可能。
- ・ サイクリストが迷うことなく、サイクリングすることが可能。

(4)位置付け(法令等根拠)

- ・ 法定外表示

<整備イメージ>



3. コース案内板

(1)方針

- ・国内外のサイクリストが、快適にサイクリングや観光を楽しめるように、主要観光地や休憩施設等を示したコース案内板を設置することを推奨。

(2)整備内容

- ・必要に応じて、休憩施設や交差点など多方面の流入・流出がある箇所等で設置
- ・サイクリングコース、主要観光地、休憩施設、トイレ等を記載
- ・利用状況等により、外国語を併記

(3)期待される効果

- ・現在地を表示するとともに、主要観光地の位置や距離等を明示し、サイクリストの観光意欲が向上。
- ・サイクリストが迷うことなく、サイクリングすることが可能。
- ・休憩施設、トイレ等を記載することで安心してサイクリングすることが可能。

(4)位置付け(法令等根拠)

- ・法定外表示

<整備イメージ>



4. 注意喚起看板等

(1)方針

- ・国内外のサイクリストが、安全なサイクリングを楽しめるように、コース上の危険箇所等に注意喚起看板等を設置することを推奨。

(2)整備内容

- ・沿線状況により、注意喚起が必要な箇所に設置
- ・利用状況により、ピクトグラムや外国語を表示

(3)期待される効果

- ・学校周辺など歩行者が多数通行する箇所等でサイクリストにゆっくり走るよう注意喚起し、事故発生リスクを低減。
- ・急な下り坂・急カーブ等自転車走行上の危険箇所であることを注意喚起。
- ・外国語表記やピクトグラムで注意喚起することで、増加する外国人サイクリストにも配慮。

(4)位置付け(法令等根拠)

- ・法定外表示

<整備イメージ>



取組の概要

環瀬戸内海圏域にホームタウンをおくサッカーチーム間の試合において、観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるよう本協議会で取組んでいる成果等をPRすることで、本四連絡道路の利用促進に繋げる。

本四連絡道路の利用促進のためのPRを実施

効果:本州と四国間の交流が促進。

サッカーの試合会場で観光・物産等をPRしている「PRIDE OF 中四国」と連携し、観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるパンフレットや本協議会の交流促進に向けた取組成果等(スポーツ観光の振興、海の魅力の発信、美や文化のネットワーク化、食文化の発信・伝承)によりPRを実施



本州と四国間の交流促進につながる
パンフレットの配布等によりPR



PRIDE OF 中四国の活動 (試合会場で観光地のPRや物産品のプレゼント等を実施)

※PRIDE OF 中四国:J1の広島を除く中四国のJリーグのクラブと自治体が連携し、地域の観光や物産を全面にPRしながらサポーターが楽しめる対戦企画

PRIDE OF 中四国 6クラブの順位を当てよう!

2015シーズンのPRIDE OF 中四国には、レノア山FCが新たに加わり、全6クラブと各ホームタウン自治体が連携した、順位予想プレゼント企画、その名も、「a:tete」を実施します! 各クラブのリーグ最終順位を予想し、各ホームタウンのプレゼントを当てて (a:tete) ください!

順位当てゲーム「a:tete」のルール

1等&2等各県の特産品 計12名様
3等「PRIDE OF 中四国」オリジナルハンカチタオル 計120名様



※PRIDE OF 中四国の順位を予想する際は、各クラブの順位を予想するだけでなく、各クラブの特産品や観光地に関する情報も活用してください。
※PRIDE OF 中四国の順位を予想する際は、各クラブの順位を予想するだけでなく、各クラブの特産品や観光地に関する情報も活用してください。

【連携取組】サッカー公式試合での交流促進

取組の概要				
【取組の概要】 ○環瀬戸内海圏域には、サッカーのJ1チームが2県（兵庫県、広島県）、J2チームが4県（岡山県、徳島県、香川県、愛媛県）にあり、各試合に県内外から多くの観客が訪れていることから、観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるよう本協議会で取組んでいる成果等をPR。 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○各主体の既存の取組 ・PRIDE OF 中四国 - J1の広島を除く中四国のJリーグのクラブと自治体が連携し、地域の観光や物産を全面にPRしながらサポーターが楽しめる対戦企画（岡山、香川、徳島、愛媛、鳥取、山口の6チームによる実施） （AWAYチームの観光地や名産品のPR、プレゼント等の活動を実施）				
取組の内容				
◇本四間の交流促進に繋がるためのPR ・サッカーの試合会場で観光・物産等をPRしている「PRIDE OF 中四国」と連携し、観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるパンフレットや本協議会の交流促進に向けた取組成果等（スポーツ観光の振興、海の魅力の発信、美や文化のネットワーク化、食文化の発信・伝承）によりPRを実施				
取組の進捗状況				
○平成27年度内の目標 ◇本四間の交流促進に繋がるためのPR ・PRIDE OF 中四国及び関係自治体と連携企画を協議、目標を決定。 ○進捗状況（H28.3末時点） ◇本四間の交流促進に繋がるためのPR ・PRIDE OF 中四国のイベントに対し、協議会としての連携する取組内容（協議会のパンフレット配布等）を打診。 （PRIDE OF 中四国において、連携する取組内容について協議中） ・Jリーグと本四間の交流人口拡大に繋がる取組に関する協議を実施。				
取組内容及び取組主体	H27年度	H28年度	H29年度～	目 標
	（ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる機関との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります）			
◇本四連絡道路の利用促進のためのPR	各県等の既存取組を継続			○28年度は現在実施中の取組を推進するとともに連携した取組内容を検討、目標を決定する。
	・取組内容の検討 ・目標の決定		連携による取組を実施	
				○H29年度以降は取組を実施

取組に関する 当面の目標	
○平成28年度内の目標 ◇PRIDE OF 中四国と連携する取組内容について協議、決定 ○平成29年度以降の目標 ◇PRIDE OF 中四国と連携する取組内容について協議、決定 ◇決定した取組内容を実施	
主担当 副担当	愛媛県 広島県

取組の概要

- 環瀬戸内海地域の現存する木造天守やその近隣の史跡などの歴史的遺産を巡るモデルルートを設定。
- 協議会や各県のHP及び旅行会社等で広く発信することにより、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。



【現 存 天 守 6 城 を 1 泊 2 日 で 巡 る 旅】

■凡例

- 城: 現存天守が残る城
- 城: 城跡、復元天守等

◆モデルコース①

【1日目】

中国自動車道「中国池田IC」＝(中国自動車道→播但連絡道路)＝

姫路城＝(播但連絡道路→瀬戸中央自動車道→高松自動車道)＝**丸亀城**＝
(高松自動車道→高知自動車道)＝高知市泊

【2日目】

宿泊地＝**高知城**＝(高知自動車道→徳島自動車道)＝

徳島城跡(徳島城博物館)＝(徳島自動車道→神戸淡路鳴門自動車道)＝
洲本城跡＝(神戸淡路鳴門自動車道→中国自動車道)＝「中国池田IC」

◆モデルコース②

【1日目】

中国自動車道「中国池田IC」＝(中国自動車道→岡山自動車道)＝

備中松山城＝(岡山自動車道→山陽自動車道)＝**福山城**＝(西瀬戸自動車道)＝
今治城＝松山市泊

【2日目】

宿泊地＝**伊予松山城**＝(松山自動車道→宇和島道路)

＝**宇和島城**＝(宇和島道路→松山自動車道)＝**大洲城**＝

(松山自動車道→瀬戸中央自動車道→中国自動車道)＝「中国池田IC」

【その他の地域の現存天守】

- ・国宝指定
松山城(長野県)、犬山城(愛知県)、彦根城(滋賀県)、松江城(島根県)
- ・重要文化財指定
弘前城(青森県)、丸岡城(福井県)

現存天守6城を1泊2日で巡る旅



日本の中で江戸時代までに建造された城のうち、天守が現存しているのはわずか12城。
 そのうち「環瀬戸内海地域」には、なんと6城が現存しています！
 そのほかにも、現代において復元されながらも築城の時代を偲ばせる名城や史跡がたくさんあります。
 風光明媚な瀬戸内海を渡って、現存天守6城全てを巡り、約400年前の築城時代に思いを馳せてみては？

モデルコース①

- 1日目** 中国自動車道「中国池田IC」＝(中国自動車道→播但連絡道路「花田IC」)＝ **姫路城**＝(播但連絡道路→瀬戸中央自動車道→高松自動車道「坂出IC」)＝ **丸亀城**＝(高松自動車道→高知自動車道「高知IC」)＝高知市泊
- 2日目** 宿泊地＝ **高知城**＝(高知自動車道→徳島自動車道「徳島IC」)＝**徳島城跡(徳島城博物館)**＝(徳島自動車道→神戸淡路鳴門自動車道「洲本IC」)＝**洲本城跡**＝(神戸淡路鳴門自動車道→中国自動車道)＝「中国池田IC」

モデルコース②

- 1日目** 中国自動車道「中国池田IC」＝(中国自動車道→岡山自動車道「賀陽IC」)＝ **備中松山城**＝(岡山自動車道→山陽自動車道「福山東IC」)＝**福山城**＝(西瀬戸自動車道「西瀬戸尾道IC」)→「今治北IC」)＝**今治城**＝松山市泊
- 2日目** 宿泊地＝ **伊予松山城**＝(松山自動車道「松山IC」)→宇和島道路「宇和島朝日IC」)＝ **宇和島城**＝(宇和島道路→松山自動車道「大洲北只IC」)＝**大洲城**＝(松山自動車道「大洲IC」→瀬戸中央自動車道→中国自動車道)＝「中国池田IC」

※道路事情等により、1泊2日ではモデルコースのとおり巡れない場合がございます

【環瀬戸内海地域交流促進協議会】

四国経済連合会 中国経済連合会
 兵庫県 岡山県 広島県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
 国土交通省 四国運輸局 国土交通省 中国地方整備局
 国土交通省 四国地方整備局 本州四国連絡高速道路(株)

◆お問い合わせ先

◇事務局＜協議会に関すること＞
 国土交通省 四国地方整備局 道路計画課
 電話 087-811-8322
 本州四国連絡高速道路株式会社
 電話1778-291-1000

◇「環瀬戸内海の歴史や文化のネットワーク化」担当
 <本チラシに関すること>
 高知県土木部道路課
 電話 088-823-9834
 ※各城の詳細については裏面の「問合せ先」へご連絡をお願いします。

⇒詳細は <http://kanseto.jp/>

環瀬戸内海地域の現存天守6城

姫路城(兵庫県)



- 開城時間：午前9時～午後4時(閉門は午後5時)
※4/27～8/31は午前9時～午後5時
(閉門は午後6時)
- 休城日：12月29日、30日
- 料金：大人(18歳～) 1,000円
小人(小、中、高) 300円
- HP：<http://www.city.himeji.lg.jp/guide/castle.html>
- 問合せ先：079-285-1146(姫路城管理事務所)
- 駐車場：大手門駐車場(有料)ほか
- アクセス：播但連絡道路 花田ICから約15分
国道2号姫路バイパス姫路 南ランプから約15分

奈良の法隆寺とともに日本初の世界文化遺産に登録された姫路城。白漆喰塗籠造の白壁から「白鷺城」の名で親しまれ、シラサギが羽を広げたような優雅な姿で街を見下ろしている。

現在の姫路城は、慶長14(1609)年に建築されたものであるが、平成21年度から26年度まで、姫路城大天守保存修理事業(平成の修理)によって建築時の美しい姿が再現されている。

○立ち寄りスポット：西の丸長局(百間廊下)・兵庫県立歴史博物館



備中松山城(岡山県)



- 開城時間：4月～9月 午前9時～午後5時30分
10月～3月 午前9時～午後4時30分
- 休城日：12月29日～1月3日
- 料金：大人300円、小人(小中学生)150円
- HP：<http://takahasikanko.or.jp/>
- 問合せ先：0866-22-1487(備中松山城管理事務所)
- 駐車場：城見橋駐車場(無料)
駐車場から有料のシャトルバス運行
(土日・祝・繁忙期)
- アクセス：岡山自動車道 賀陽ICから車で20分

標高430mの臥牛山頂上付近に建つ天守は、国の重要文化財で、現存天守を持つ山城としては最も高い所にあり、「日本三大山城」にも数えられる。鎌倉時代、秋庭重信が大松山に城を築いたのを起源とし、天和3(1683)年に水谷勝宗によって3年がかりで修築され、今の天守の姿となった。登城坂の周囲は、高さ10m以上の巨大で切り立った岩壁がそびえ、「難攻不落の名城」の面影を感じられる。白い漆喰塗りの壁と黒い腰板のコントラスト、空の青に映える美しい天守。秋には大手門跡付近の木々が紅葉し、岩壁が燃えるような朱色に覆われる景色は圧巻。

○立ち寄りスポット：八重籬神社・高梁市歴史美術館・武家屋敷(旧折井家・旧塙原家)



丸亀城(香川県)



- 開館時間：午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- 休館日：無休
- 料金：大人200円、小人(小中学生)100円
- 問合せ先：0877-22-0331(丸亀市観光協会)
- HP：<http://www.city.marugame.lg.jp/sightseeing/spot/01.html>
- 駐車場：丸亀城内、資料館南側(無料)ほか
- アクセス：高松自動車道 普通寺IC・坂出ICから約20分

高さ日本一の石垣に鎮座して400年の歴史を刻む丸亀城。内堀から天守にかけて4層に積み重ねられた石垣は、約60メートルと日本一の高さを誇り、「扇の勾配」と呼ばれる特徴的で見事な曲線を描く。

近世城郭は豊田秀吉政権下に讃岐17万石を与えられた生駒正親が慶長2(1597)年、高松城の支城として築いたことが始まり。暗色の石垣と鮮やかなコントラストを奏でる白亜の天守は、全国でも珍しい木造天守である。

○立ち寄りスポット：丸亀市立資料館・中津万象園



伊予松山城(愛媛県)



- 開城時間：2月～7月 午前8時30分～午後5時30分
9月～11月 午前8時30分～午後6時
8月 午前8時30分～午後5時
12月～1月 午前8時30分～午後5時
- 休城日：12月第3水曜日
- 料金：大人510円、小人(小学生)150円
- 問合せ先：089-921-4873(松山城総合事務所)
- HP：<http://www.matsuyamajo.jp/>
- 駐車場：松山城駐車場(有料)
- アクセス：松山自動車道 松山ICから車で約20分

日本で最後の完全な城郭建築(桃山文化様式)として、21棟の建造物が国の重要文化財に指定。大天守、小天守、隅櫓を互いに結び、武備に徹した天守建造物群は「日本三大連立式平山城」に数えられる。

司馬遼太郎著『坂の上の雲』の序文で文学都市松山の象徴として描かれるなど、松山市のシンボルとして親しまれている。

○立ち寄りスポット：二之丸史跡庭園・道後温泉本館・萬翠荘



宇和島城(愛媛県)



- 開館時間：4月～9月 午前9時～午後5時
10月～3月 午前9時～午後4時
- 休館日：無休
- 料金：大人200円、小人(小中学生)100円
- 問合せ先：0895-49-7033
(宇和島市文化・スポーツ課)
- HP：<http://www.city.uwajima.ehime.jp/site/uwajima-jo/ujoishiro.html>
- 駐車場：城山下駐車場(有料)
- アクセス：一般国道56号宇和島道路 宇和島朝日ICから車で約4分

宇和島湾に面した場所に不等辺五角形の縄張りで築かれ、築城の名手と名高い藤堂高虎による優れた築城術が活かされた堅城であった。

巨大な石垣を横目に急な石段を登って行くと、山頂には当時のままの三層三階の天守が鎮座する。天守内部は木の味わいが残り、遠く宇和島湾と宇和島の町並みを一望できる。

○立ち寄りスポット：伊達博物館・天赦園・和霊神社



高知城(高知県)



- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休館日：12月26日～1月1日
- 料金：大人(18歳以上)420円、18歳未満無料
- 問合せ先：088-824-5701(高知城管理事務所)
- HP：<http://kochipark.jp/kochijyo/>
- 駐車場：高知公園駐車場(有料)
- アクセス：高知自動車道 高知ICから車で約15分

日本で唯一本丸の建築群が全て現存する近世城郭。「日本三大夜城」の一つ。もともとこの場所には南北朝時代に築

かれた大高坂城があり、戦国時代には長宗我部元親が岡豊城より移り居城としていた。

しかし、治水に難儀し、わずか3年で元親は本拠を浦戸へ移転。その後関ヶ原の戦いの功績で入国した山内一豊がこの地を城地と定め、慶長6(1601)年秋から築城をはじめた。享保12(1727)年の大火で一部の建物を残し消失。現在の天守は20年以上の歳月をかけて再建されたもの。

○立ち寄りスポット：山内神社・旧山内家下屋敷長屋展示館
高知県立高知城歴史博物館(2017年春開館予定)



徳島城跡(徳島県)



- 徳島城博物館
- 開館時間：午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(日曜・祝日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 料金：一般300円、高校生・大学生200円
中学生以下無料
- 問合せ先：088-656-2525(徳島城博物館)
- 駐車場：徳島中央公園東側駐車場(有料)
- アクセス：徳島自動車道 徳島ICより車で約10分

○HP：<http://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku/index.shtml>

徳島市の中央にそびえる城山は、形がイノシシに似てることから「猪の山」といわれ、また、その地勢が中国の渭水の風景に似ているので「渭津」とも名付けられた。この城は細川頼之が築城したが、その後、三好・長宗我部を経て天正13(1585)年に蜂須賀家政が入り、これを修築し阿波の本拠となった。南東に、復元された鷲の門や木橋に架け替えられた数寄屋橋、徳島城博物館などから、昔日の面影をしのぶことができる。



ここにも寄りたい!道中のお城

- 開館時間：9月～3月 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
4月～8月 午前9時～午後6時30分(入館は午後6時まで)
- 休館日：月曜日(休日の場合は翌日)、年末12/28～12/31
- 料金：大人200円(高校生以下無料)※特別展期間は別途定めず
- 問合せ先：084-922-2117(福山城博物館)
- 駐車場：ふくやま美術館、ふくやま文学館駐車場(有料)
- アクセス：山陽自動車道 福山西ICもしくは福山東ICから車で約20分

○HP：<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyamajo/>

徳川幕府から西国鎮護の拠点として、譜代大名水野勝成が元和5(1619)年備後10万石の領主として入府し築いた城。

明治6(1873)年に廃城となり、多くの城の建物が取り壊され、更に昭和20(1945)年8月の空襲により天守閣と御湯殿も焼失。その後昭和41(1966)年の秋に市制50周年事業として天守閣と御湯殿、月見櫓が復元され、天守閣は福山市の歴史を伝える博物館として藩主の書画・甲冑などを展示。



福山城(広島県)



【連携取組】歴史的遺産のネットワーク構築とPR

取組の概要	【取組の概要】 ○環瀬戸内海地域に存在する現存木造天守を紹介し、それらを巡るモデルルートを設定する。 また、現存木造天守やルートの近隣にあるその他の史跡や土木遺産等を併せて紹介することでルートを充実させ、歴史的遺産のネットワークを構築する。 ○本取組において、協議会や各県のHP、パンフレット等を活用したPRにより、広く情報発信を行い、環瀬戸内海地域内外からの交流人口の拡大を図る。 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○全国に現存する木造天守は12箇所あり、そのうち6箇所が本州と四国の環瀬戸内海地域に存在している。 そのためこれらを巡る本州・四国を結ぶルートの設定が可能であり、交流人口の拡大が見込まれる。 ○各主体の既存の取組 ・四国ツーリズム創造機構による観光情報発信（徳島・香川・愛媛・高知） 様々なテーマごとに主要観光地などを巡るコースを設定し、HPなどで紹介 ・四国歴史文化道（徳島・香川・愛媛・高知） 四国内で11箇所の歴史的テーマを持つモデル地域を設定し、主な歴史的文化遺産などを紹介
取組の内容	◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・環瀬戸内海地域に存在する現存木造天守や史跡等を巡るモデルルートを設定 ・モデルルートのマップやパンフレットを作成し配布、また、協議会や各県のHP等で公開することにより広く情報発信を行う。 ・情報発信のツールやスタンプラリーなどのイベントの実施については今後取組の中で検討を行う
取組の進捗状況	○平成27年度内の目標 ◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・モデルルートの設定及び協議会HP等でのPR ・次年度以降の実施に向け、利用者への特典等も併せて検討 ・各施設の歴史や施設を巡るルート等を紹介した広報資料を作成、各県や各施設等での配布 ・四国ツーリズム創造機構などと連携し、旅行会社等に向けたPR ○進捗状況（H28.3末時点） ◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・現存木造天守等の情報収集やモデルルートの設定及び各県との調整 ・モデルルートPR方法の検討 ・各施設の歴史や施設を巡るルート等を紹介した広報資料を作成し、各県や各施設等で配布 ・四国ツーリズム創造機構などと連携し、旅行会社等に向けたPR ・協議会HPを活用した情報発信

取組内容及び取組主体	H27年度	H28年度	H29年度～	目 標
	(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)			
◇歴史的遺産ネットワークの構築とPR 【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	実施方針の検討及び各県との調整	各県と連携して取組を実施		○H26～H27年度は、各県と調整しながら実施方針や内容の検討、取組の実施 ○平成28年度以降は各県と連携して取組を実施
取組に関する当面の目標				
○平成28年度内の目標 ◇現存木造天守等の史跡の紹介、モデルルートの設定、PR ・次年度以降の実施に向け、利用者への特典等も併せて検討 ・四国ツーリズム創造機構などと連携し、旅行会社等に向けたPR （9～10月（大阪、東京）に行われる旅行会社等との商談会において、四国ツーリズム創造機構に協力していただきモデルルートや施設をPR） ・協議会HPを活用した情報発信（各施設でのイベント情報など情報を充実） ・道の駅やSA・PAと連携した情報発信（チラシ等）について協議・検討				
○平成29年度以降の目標 ・四国ツーリズム創造機構などと連携し、旅行会社等に向けたPR ・協議会HPを活用した情報発信（各施設でのイベント情報など情報を充実） ・道の駅やSA・PAと連携した情報発信（チラシ等）を実施				
主担当	高知県			
副担当				

取組の概要

- 平成27年3月、「四国のへそ」吉野川ハイウェイオアシスや道の駅「藍ランドうだつ」等でグルメフェアを開催。県外の「道の駅」の関係者にも声をかけ、環瀬戸内海地域の交流の場に「四国のへそ」を活用
- 徳島県「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」において、環瀬戸内海地域のグルメが参集するフェアの平成28年秋頃開催を目指し、環瀬戸内海地域の「食の魅力」を発信する。
- 各地域の食イベント等に併せて、通年で食に関するパネル展を開催

あつまれ「四国のへそ」とくつフェアの開催



食の魅力発信

- ・平成27年3月、「四国のへそ」吉野川ハイウェイオアシスや道の駅「藍ランドうだつ」等でグルメフェアを開催
- ・平成28年度、徳島県「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」における地域イベントと連携したグルメフェアの秋頃開催を目指す。
- ・各地域の食イベント等に併せて、通年で食に関するパネル展を開催

【参考】神戸・鳴門ルートを中心とした連携事業を実施【交流促進】

【連携1】淡路花博2015花みどりフェア

- ・「淡路まんぷく食堂」「ひょうご五国のめぐみキッチンスタジアム美食の饗宴」等

【連携2】大鳴門橋開通30周年記念事業

- ・海峡「食のダービー」



地域連携イベント(グルメフェア)



パネル展

環瀬戸内海地域のグルメが参集するフェアを開催

環瀬戸内海地域の各地でパネル展を開催

環瀬戸内海地域の魅力ある食文化を広く継続して発信していくことで、各地への観光誘客を図り、交流人口の増加につなげていく。

環瀬戸内海地域の食文化に関するパネル展の開催

【徳島県・兵庫県】

○環瀬戸内海地域の食文化に関するパネル展を開催し、各県の食の魅力や高速道路等の整備効果を発信

パネル展開催状況 H28.2.20～28 吉野川ハイウェイオアシス(徳島県東みよし町)



※「四国酒まつり」、「うどんつマルシェ」開催 (H28.2.20池田町) により、三好市中心部に1.8万人が訪れた。同時期に吉野川ハイウェイオアシスでパネル展を開催。

パネル展開催状況 H28.4.23 淡路サービスエリア(兵庫県淡路市)



※淡路SAのリニューアルイベント「Fantasy in 淡路SA」に合わせ、パネル展を開催。
大観覧車の無料開放やゆるキャラとのふれあい等があり、大勢の親子連れ等で賑わいました。

パネル展開催状況 H28.3.13 とくしまどうフェスタin上板SA(徳島県上板町)



※とくしまどうフェスタin上板SA(主催：西日本高速株式会社)でパネル展を開催。各県の食文化の魅力を発信

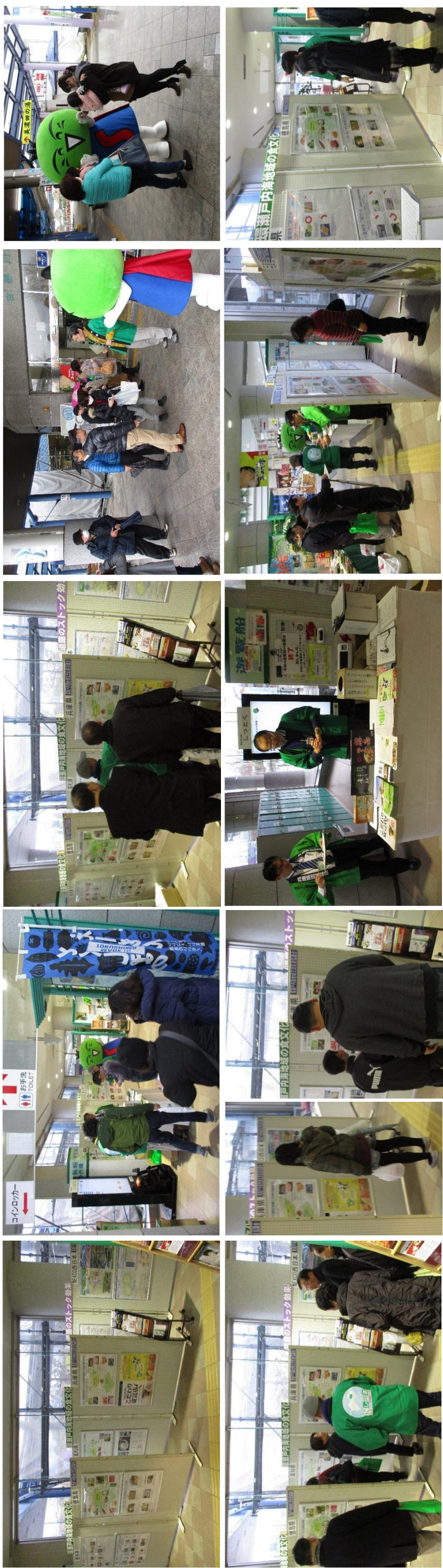


※徳島自動車道治線市町の特産物販売やゆるキャラとのふれあい等があり、大勢の親子連れ等で賑わいました。

「食文化の発信・伝承」に関するパネル展

平成28年2月20日～28日
in吉野川ハイウェイオアシス

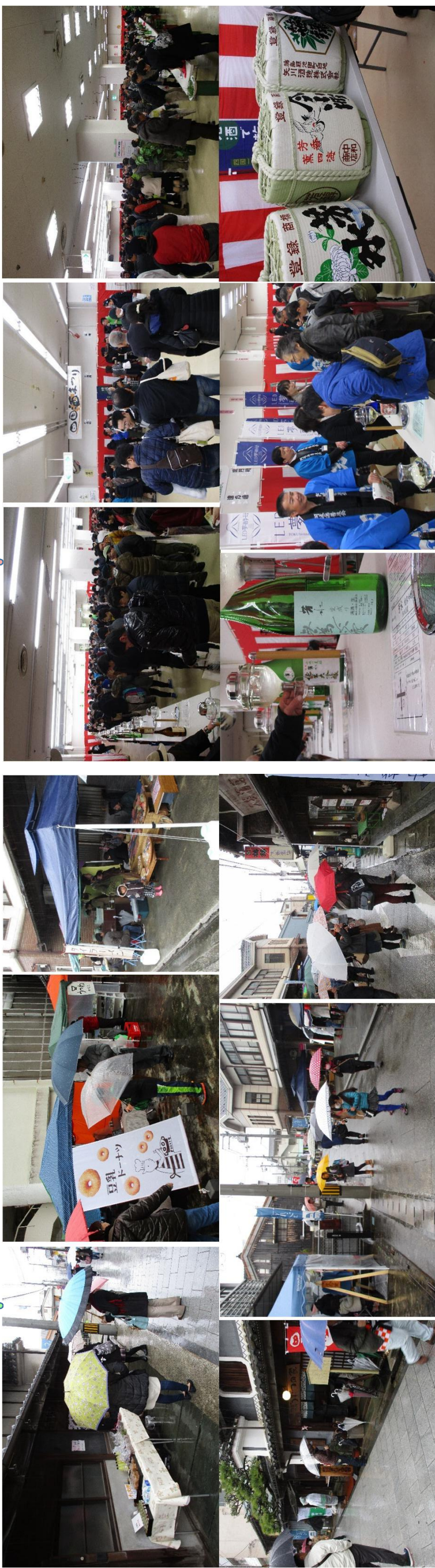
・環瀬戸内海地域の食文化や道路のストック効果に関するパネル展を実施しました。



・平成28年2月20日、「四国酒まつり」と「うだつマルシェ」が徳島県三好市池田町で開催され、1.8万人が池田町中心部に集まりました。

うだつマルシェ

四国酒まつり



「食文化の発信・伝承」に関するパネル展

平成28年3月13日
とくしまどうフェスタ in 上板SA

・ 環瀬戸内海地域の食文化や道路のストック効果に関するパネル展を実施しました。



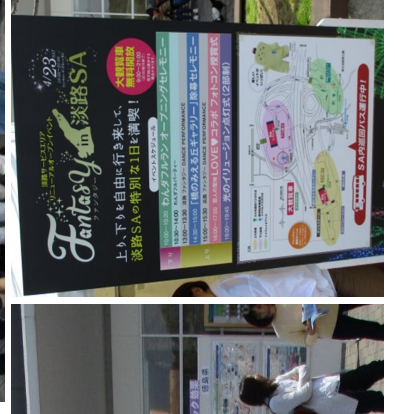
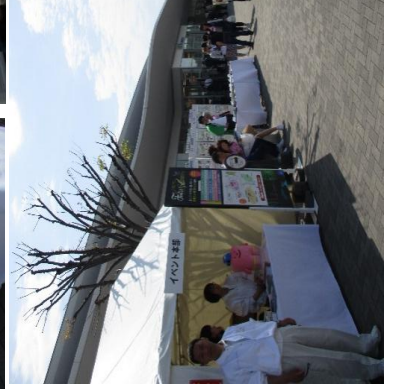
・ 徳島自動車道沿線市町の特産物販売やゆるキャラとのふれあい等があり、大勢の親子連れ等で賑わいました。



「食文化の発信・伝承」に関するパネル展

平成28年4月23日
Fantasy in 淡路SA

- ・ 環瀬戸内海地域の食文化や道路のストック効果に関するパネル展を開催しました。
- ・ 各県のグルメパンフレット等の配布、PRを実施しました。



本四高速ブース

環瀬戸内海地域パネル展

【連携取組】あつまれ「四国のへそ」とくときフェア

取組の概要	【取組の概要】 ○「四国のへそ」吉野川ハイウェイオアシスに、いつもは徳島市内で開催している「徳島マルシェ」と県内の「道の駅」名産品を一同に参集する。 ○県外の「道の駅」の関係者にも声をかけ、環瀬戸内海地域の交流の場を設ける。 ○会場での完結型ではなく、環瀬戸内海地域の各種イベント参加（徳島マラソン、淡路花博他）に、結びつくような仕掛け（スタンプラリー等）を展開。 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○各主体の既存の取組 ・徳島マラソン 2015 1万人規模に拡大 平成27年3月22日開催【徳島県】 〃 2016 1万2千人超参加 平成28年4月24日開催【徳島県】 ・淡路花博 2015・花みどりフェア 平成27年3月21日～5月31日 【淡路花博15周年記念事業実行委員会・兵庫県】 ・大鳴門橋開通30周年記念事業【徳島県・兵庫県】 ・四国地区「道の駅」スタンプラリー2013～2014、2014～2015、2015～2016 〃 アイスクリュー選手権 【四国地区「道の駅」連絡会】
取組の内容	◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア（仮称）の開催 ・環瀬戸内海地域（兵庫県・岡山県・広島県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県）の協力可能な「道の駅」等の自慢の逸品が参集するフェアを開催し、環瀬戸内海地域における食文化の情報発信をするとともに、平成27年3月に開通した徳島自動車道の全通効果を実感。 ◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施 ・海峡「食のダービー」や「食のおもてなし」など食を中心にした広報事業を実施。
取組の進捗状況	○平成27年度内の目標 ◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア ①フェアが継続的に開催出来るよう検討する ②食文化の発信・伝承に向けて、各県の伝統ある食材、トレンド食材を調査・発信（パネル展の開催） ③平成28年春頃のパネル展の開催を目指す ◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施 ①花みどりフェア淡路花博の成功を目指す ②大鳴門橋開通30周年記念事業の成功を目指す ・おどる宝島パスポートによる徳島・淡路周遊キャンペーンを実施 ・食のブランド海峡ダービーや2橋まるごとウォークツアー等で徳島県、兵庫県の食をPR ○進捗状況（H28.3末時点） ◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア ①グルメフェア（あつまれ「四国のへそ」とくときフェア）を開催（H27.3.15） ・開催場所：吉野川ハイウェイオアシス ・トピック：愛媛県と香川県からB級グルメ出店 新B級グルメ「とくしまオムライス」企画 ②各県の伝統ある食材、トレンド食材の調査 ③食に関するパネル展を開催し、各県の食文化を発信、PR ・開催場所：吉野川ハイウェイオアシス（H28.2.20～2.28） ・開催場所：上板サービスエリア（H28.3.13） ④平成28年度にフェア開催が出来るよう検討

◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施

- ①花みどりフェア淡路花博2015を開催（H27.3.21～H27.5.31）
- ②おどる宝島パスポートによる兵庫県・徳島県の連携
 - ・徳島・淡路の参加施設（飲食店等）で特典付サービスを実施（H28.12.31まで）
 - ・徳島・淡路周遊キャンペーンの実施（H28.2.29まで）
 - ・徳島の高速道路の利用促進キャンペーンを実施（H27.9.30まで）
- ③淡路島&徳島とくとき周遊ガイドによる兵庫県・徳島県の連携
 - ・徳島・淡路のクーポン対象施設（観光施設等）で割引等サービスを実施（H28.3.31まで）
- ④食のブランド海峡ダービーを淡路2箇所、徳島2箇所で開催
- ⑤2橋まるごとウォークツアー等で徳島県、兵庫県の食をPR（H27.10）

取組内容及び取組主体	H27年度	H28年度	H29年度～	目 標
	（ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります）			
◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア（仮称）の開催 【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、中国地整、四国地整（今後調整） あつまれ「四国のへそ」とくときフェア 淡路花博 2015 花みどりフェア	実施方針の検討及び決定	地域の食文化の情報発信で、交流人口増加を目指す グルメフェア パネル展 食のブランド「淡路島」オータムメッセ	○H27年度、各県の伝統とトレンド食材を調査、パネル展の開催 ○H28年度はグルメフェアの開催、各地域でパネル展の開催を目指す。 ○H29年度以降も、兵庫県と連携した取組を強化し、交流人口増加目標の達成を目指す。 評価指標 ◆イベント参加者数 ◆徳島自動車道、本四高速交通量	
取組に関する当面の目標				

○平成28年度内の目標

◇あつまれ「四国のへそ」とくときフェア

- ①徳島県の「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」において、地域イベントと連携したグルメフェアを秋頃開催する。
- ②各地域で環瀬戸内海地域の食に関するパネル展を開催する（通年で各種イベントに合わせパネル展実施）
淡路サービスエリアで開催（H28.4.23）
- ③フェアを継続的に開催出来るよう調整

◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施

- ①2橋まるごとウォークツアー等で兵庫県、徳島県の食等の魅力発信
- ②おどる宝島パスポート（参加施設：飲食店等）の特典付きサービスによる兵庫県・徳島県の連携
- ③淡路島&徳島とくとき周遊ガイドによる兵庫県・徳島県の連携
 - ・徳島・淡路のクーポン対象施設（観光施設等）で割引等サービスを実施
- ④食のブランド「淡路島」オータムメッセを11月に開催する
〔会場：淡路島内、出店数：約30店（予定）〕

○平成29年度以降の目標

◇あつまれ「四国のへそ」とくたくフェア

- ①食文化の発信・伝承に向けて、グルメフェアやパネル展の開催による情報発信
- ②グルメフェアを継続的に出来るよう検討する。

◇神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施

- ①2橋まるごとウォークツアー等で兵庫県、徳島県の食等の魅力発信
- ②おどる宝島パスポート（参加施設：飲食店等）の特典付きサービスによる
兵庫県・徳島県の連携

主 担 当

徳島県

副 担 当

兵庫県

取組の概要

- 「せとうち美術館ネットワーク」参加施設を巡るモデルルートの設定や各施設の展覧会情報の紹介などにより、文化芸術の輪の拡大
- 本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用・充実し、環瀬戸内海地域の文化芸術のネットワーク化を支援

「文化芸術巡り(仮称)」

○「せとうち美術館ネットワーク」参加施設を巡るモデルルートの設定や展覧会情報の紹介などにより環瀬戸内海地域における文化芸術の輪を拡大し、交流人口の拡大を図る。

「せとうち美術館ネットワーク」の充実

○本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用・充実し、文化芸術ネットワーク化の支援

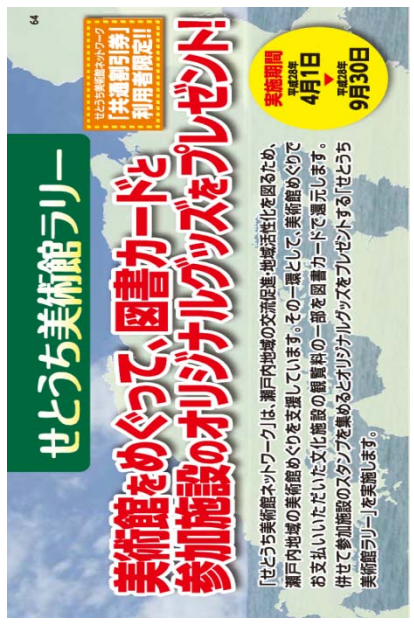
【せとうち美術館ネットワーク】

- 平成20年10月より、瀬戸内地域の文化芸術面の魅力発信の支援を目的に発足（当初6施設 → 現在60施設）
- 現在、美術館めぐりでお支払いいただいた文化施設の観覧料が実質5割引となるように図書カードでの還元やスタンプを集めれば参加施設のオリジナルグッズがプレゼントされる「せとうち美術館ラリー」を実施中

「せとうち美術館ネットワーク」共通割引利用者数

時期	参加施設	利用者数	時期	参加施設	利用者数
20年度 2008秋冬	6	2,970人(495人施設)	2012春夏	41	9,204人(244人施設)
2009春夏	15	11,166人(744人施設)	2012秋冬	44	8,545人(194人施設)
21年度 2009秋冬	18	7,783人(432人施設)	2013春夏	46	10,468人(233人施設)
2010春夏	21	11,147人(531人施設)	2013秋冬	47	8,106人(224人施設)
22年度 2010秋冬	24	10,195人(425人施設)	2014春夏	48	8,386人(175人施設)
2011春夏	31	13,093人(422人施設)	2014秋冬	53	7,900人(149人施設)
23年度 2011秋冬	39	6,207人(159人施設)	2015春夏	58	11,477人(195人施設)
			2015秋冬		11,477人

※ 利用者数は延べ人数、2015秋冬は集計中



【連携取組】文化芸術ネットワークの推進

取組の概要	【取組の概要】 ○様々な着眼点で文化芸術施設等の紹介、並びにモデルルート[文化芸術めぐり(仮称)]を設定することで、環瀬戸内海地域に文化芸術の輪を広げ、交流人口の拡大を図る。 ○本四高速が実施している「せとうち美術館ネットワーク」を活用し、環瀬戸内海地域の文化・芸術のネットワーク化を支援。現在、60施設で構成されている「せとうち美術館ネットワーク」をさらに充実し、文化芸術をキーワードとした環瀬戸内海地域の文化芸術の輪を広げる。 ○本取組は、協議会・各県のHP等を活用したPRにより、環瀬戸内海地域を中心に広域での広報活動を実施。 【プロジェクト化にあたっての現状・背景等】 ○環瀬戸内海地域には世界に誇れる美や文化があり、そのポテンシャルは高く、これらを有効活用することで交流人口の拡大につながる環境にある。 ○「せとうち美術館ネットワーク」【本四高速・参加美術館、博物館(全60施設)】 ・美術館めぐりモデルコース等の実施 ・共通割引券 ・観覧料を実質5割引程度となる図書カードでの還元やスタンプを集めてプレゼントがもらえる「せとうち美術館ラリー」を実施中
取組の内容	◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの設定 ・様々な着眼点で文化芸術施設等を紹介するとともに、各所を巡るモデルルート「文化芸術めぐり(仮称)」を定期的に設定し、環瀬戸内海地域における文化芸術に関する情報を積極的に発信することで、環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る。 ・スタンプラリーなどを絡めた記念品贈呈なども検討。 ◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実 ・現在実施中の「せとうち美術館ネットワーク」をさらに充実し、環瀬戸内海地域の文化芸術の輪を拡大。 ◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報の積極的な発信
取組の進捗状況	○平成27年度内の目標 ◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの設定 ・具体の施設紹介、モデルルートの提案等の実施 ◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実 ・現状路線の延長線上で充実を図る ・59施設で実施 ・「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」等も継続して実施 ◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報の積極的な発信 ・協議会サイトのアップに合わせ、上記の情報を発信 ○進捗状況(H28.3末時点) ◇文化芸術施設の紹介、モデルルートの設定 ・「せとうち美術館ネットワーク」参加施設を巡るモデルルートの設定や展覧会情報の紹介などを検討 ・シルバー世代を対象とした美術館ツアー「瀬戸大橋と芸術の秋」を実施

◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実

- ・平成28年10月から、新たに1施設が加わり、全60施設で実施
- ・利用金額に応じて図書カードをプレゼントする「せとうち美術館めぐり応援キャンペーン」は実施

◇協議会・各県のHP等を活用し、これら情報の積極的な発信

取組内容及び取組主体	H27年度	H28年度	H29年度～	目 標
	(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)			
◇文化芸術施設のモデルルートの設定紹介	参加施設を巡るモデルルートの設定や展覧会情報の紹介などを検討			○H28年度以降はモデルルートの設定等を実施
◇せとうち美術館ネットワーク充実	「せとうち美術館ネットワーク」の充実			○H28上半期は、60施設で展開。観覧料を割引等するキャンペーンを実施中
◇HP等を活用した情報発信	参加施設を巡るモデルルートや展覧会情報の発信			
取組に関する当面の目標				
○平成28年度内の目標				
◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実や積極的な情報発信 など				
○平成29年度以降の目標				
◇「せとうち美術館ネットワーク」の充実や積極的な情報発信 など				
主 担 当	高 知 県			
副 担 当	本 四 高 速 道 路 (株)			

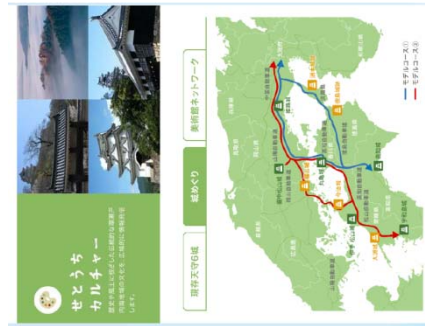
協議会で実施する情報発信について

取組の概要

- 協議会サイトを開設し、各種取り組み情報を発信するとともに、関連団体とのリンクにより広域な情報発信
- 取組カレンダー、イベントマップ等によるPR

協議会サイトの開設

○協議会の紹介、取組等の情報を発信するWEBサイトを、2016年2月5日に開設 (<http://www.kanseto.jp/>)



[今後の展開]

- 掲載内容を適宜更新。
- イベントスケジュールなど追加
- リンクによる連携強化
- 多言語化への対応
- など

取組カレンダー、イベントマップ等によるPR

○取組毎のイベントカレンダーやイベントマップ等を定期的に作成して情報発信。

- ・取組カレンダー、イベントマップ等は、テーマ毎の担当が中心となり作成、発信する体制を構築
- ・担当する取組を中心に、同時期に実施する他のイベント等の追加情報も発信できるように担当間での密接な連携
- ・より広域的な情報発信のため、インバウンドを意識し、多言語表記なども実施

○情報発信の媒体については、協議会サイト、各県アンテナショップ、SA・PA、道の駅等を活用して積極的に発信



アンテナショップ
(せとうち旬彩館)



SA・PA
(淡路SA)

○情報発信などの広報については、環瀬戸内海地域交流促進協議会内で連携し、サイトの運営、リーフレットの作成等の発信を実施

取組の概要

- 日本で最初の国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施する。
- 瀬戸内海の魅力体験に繋がる各県のウォーキングイベントを、協議会のホームページにまとめて掲載し、環瀬戸内海交流促進協議会として一体的にPRする（広報連携）。
- 各地域のウォーキング協会等に協力を仰ぎ、自然や歴史、見どころなどをガイドしながら瀬戸内海国立公園により親しんでいただくとともに、協議会ホームページ上に地域情報（観光・宿泊情報等）を提供することとで観光・宿泊を含めた参加プランを提案する。

既存の取組（事例）

●屋島ウォーク（毎年3月16日開催）

瀬戸内海国立公園が指定された3月16日に毎年開催。瀬戸内海国立公園第7回となるH28年は127名が参加。瀬戸内海国立公園ガイドマップ「屋島の自然」を発行し、ウォーク参加者に配布。



●瀬戸大橋スカイツアー（毎年春・秋2回開催）

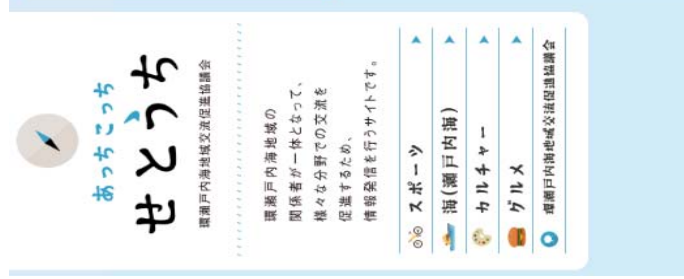
瀬戸大橋をより身近に体験し瀬戸内海のパノラマ風景を堪能してもらうため、普段立ち入ることのできない管理用通路や海面から175mの塔頂に、一般の当選者1042名（応募総数12,346名）を案内。



新規の取組

●協議会HP等を活用した広報連携

各県にて開催されるウォーキングイベントから瀬戸内海の魅力体験に繋がるものを取り上げ、HP掲載等の広報手段を活用し、協議会として一体的にPRする。



【連携取組】瀬戸内海国立公園ウォーク

取組の概要	【取組の概要】 ◇香川県・岡山県における取組み(単県) ・日本で最初の国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施する。 ・各地域のウォーキング協会等に協力を仰ぎ、自然や歴史、見どころなどをガイドしながら、瀬戸内海国立公園により親しんでいただく。 ◇連携した取組み(広報連携) ・各県で開催されるウォーキングイベントについて、瀬戸内海の魅力体験に繋がるものを取り上げ、協議会HPで広報するとともに、協議会構成団体が相互に連携して一体的にPRすることで、更なる集客を図る。 ◇その他 ・周辺の観光情報を掲載し、イベント参加者に対して観光を含めた参加プランを提案することにより、周辺地域の交流人口拡大に貢献する。
取組の内容	◇香川県・岡山県における取組み(単県) 【両 県】：「2015春スカイツアー(平成27年5月16、17、23、24日)」 ⇒実施済み 「2015秋スカイツアー(平成27年10月17、18、24、25日)」 ⇒実施済み 【香川県】：「国立公園ウォーク(平成27年11月21日)」 ⇒実施済み 「屋島ウォーク(平成28年3月16日)」 ⇒実施済み 【岡山県】：「第29回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ(平成28年3月12～13日)」 ⇒実施済み ◇連携した取組み(広報連携) ・各県に対する照会の結果、以下のウォーキングイベントを協議会HPに掲載 【兵庫県】：「明石海峡大橋海上ウォーク(平成28年5月、11月)」 「2橋まるごとウォークツアー(平成28年10月)」 【岡山県】：「第29回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ(平成28年3月12～13日)」 【広島県・愛媛県】： 「第16回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ(平成28年10月)」 【香川県】：「屋島ウォーク(平成28年3月16日)」 ◇その他 ・ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報の発信
取組の進捗状況	○平成27年度内の目標 ◇香川県・岡山県における取組み(単県) ・参加者数の増加、交流人口の拡大 ◇連携した取組み(広報連携) ・協議会HPの掲載イベント、掲載基準及び範囲等の調整 ・イベント情報の収集、更新、多言語化への対応 ・参加者数の増加 ◇その他 ・ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報の収集 ・交流人口の拡大

○進捗状況(H28.3末時点)

◇香川県・岡山県における取り組み(単県)

- 【両県】：「2015春スカイツアー(平成27年5月16、17、23、24日)」
 ⇒参加者数521人(競争倍率13.6倍)
 「2015秋スカイツアー(平成27年10月17、18、24、25日)」
 ⇒参加者数521人(競争倍率7.0倍)
- 【香川県】：「国立公園ウォーク(平成27年11月21日)」
 ⇒参加者数130
 「屋島ウォーク(平成28年3月16日)」
 ⇒参加者数127

◇連携した取り組み(広報連携)

- ・協議会HPへのウォーキングイベント掲載

◇その他

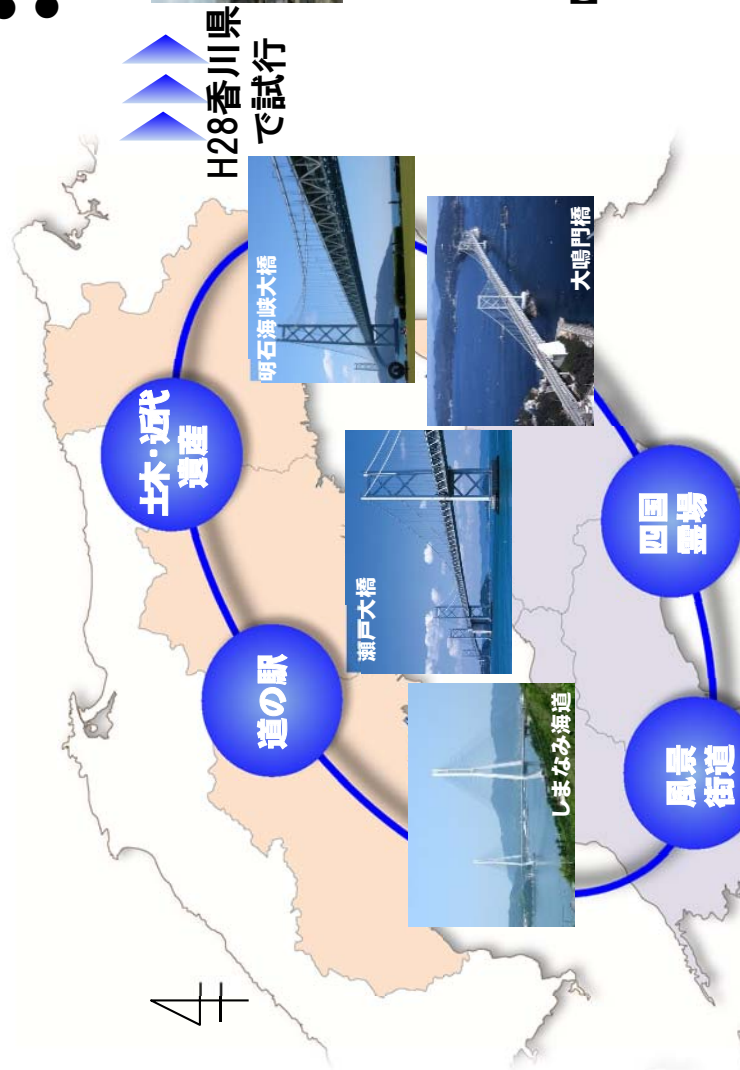
- ・ウォーキングイベントの開催地及び周辺地域の観光情報を収集

取組内容及び取組主体	H27年度	H28年度	H29年度～	目 標
	(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)			
◇瀬戸内海国立公園の関係各県の展望地等でウォーキングを実施 香川県・岡山県を中心とした取組	各県の既存取組を継続			○H27年度上期は各県調整。
◇各県で開催するウォーキングイベントの広報連携	各県取組みとの調整	各県連携による取組み		○H27年度下期は連携実施。
【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県				
取組に関する当面の目標				
○平成28年度内の目標				
・各県で、広報連携したウォーキングイベントの実施				
・協議会HPのアクセス数増加、及びウォーキングイベントの参加者数増加				
○平成29年度以降の目標				
・各県で、広報連携したウォーキングイベントの実施				
・協議会HPのアクセス数増加、及びウォーキングイベントの参加者数増加				
主担当	香川県			
副担当	岡山県			

取組の概要

- 暮らしや安全を支えるインフラをはじめ、土木遺産、近代遺産、道の駅、日本風景街道、四国八十八箇所霊場、観光施設等を巡ることにより、環瀬戸内海地域の新たな魅力を知ってもらい、一層の交流人口の拡大につなげる。
- モデルコースの設定、現地マップの作成、協議会HPや関係機関と連携し広く情報発信を行う。
- OH28から香川県で試行、環瀬戸内海地域へ展開し、本四3橋を中心としたインフラツーリズムを目指す。

【インフラツーリズムのイメージ】



**環瀬戸内海地域において
本四3橋を中心としたインフラツーリズムを展開！**

- モデルコースの設定
- 現地マップ作成
- 協議会HP、関係機関と連携した情報発信



瀬戸大橋



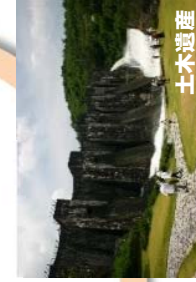
道の駅



日本風景街道



四国八十八箇所霊場



土木遺産

【インフラツーリズムに関連する取組】



【連携取組】インフラツーリズム(案)

取組の概要	【取組の概要】 ○暮らしや安全を支えるインフラをはじめ、土木遺産、近代遺産、道の駅、日本風景街道、四国八十八箇所霊場、観光施設等を巡ることにより、環瀬戸内海地域の新たな魅力を知ってもらい、一層の交流人口の拡大につなげる。 ○環瀬戸内海地域においてモデルコースを設定し、現地マップの作成、協議会HPや関係機関と連携し、広く情報発信を実施。 ○本四3橋を中心としたインフラツーリズムを目指し、<u>環瀬戸内海地域の交流人口の拡大を図る</u>
取組の内容	◇モデルコース検討 観光部局と連携しながら、インフラ、土木遺産、近代遺産、日本風景街道、四国八十八箇所霊場、観光施設等を周遊するモデルコースを検討 ◇現地確認、関係機関との協議・調整を踏まえたモデルコースの設定 交通課題の確認、施設管理者との協議・調整を踏まえたモデルコースを設定。 ◇配布用の現地マップ作成。 ◇協議会HPや関係機関と連携し、モデルコースを広く情報発信。
取組の進捗状況	平成28年度は香川県で試行 ◇瀬戸大橋や四国八十八箇所霊場、土木遺産など周遊する観光施設を検討 ◇現地確認、関係機関との協議・調整 ◇モデルコースの設定 ◇配布用の現地マップ作成。 ◇協議会HPや関係機関と連携し、モデルコースを広く情報発信。

取組内容及び取組主体	H27年度	H28年度	H29年度～	目 標
	(ここに記載する取組内容や各年度の進め方は、プロジェクト化にあたって取組主体となる期間との調整により作成した計画段階のものです。進捗や予算措置の状況等によって、変更となる場合があります)			
◇香川県で試行 【取組主体】 香川県 ◇ＨＰ等を活用した情報発信 【取組主体】 香川県・本四高速 ◇環瀬戸内海地域へ展開 【取組主体】 兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県		香川県で試行 「インフラツーリズム」を積極的に発信 各県連携による取組み		○モデルコース検討・設定、現地マップ作成、情報発信
取組に関する当面の目標	○平成28年度内の目標 ◇香川県の試行 ◇協議会ＨＰや関係機関と連携し、モデルコースを広く情報発信 ○平成29年度以降の目標 ◇環瀬戸内地域へ展開 ◇協議会ＨＰや関係機関と連携し、モデルコースを広く情報発信			
主担当	香川県			
副担当	岡山県			